

もりのにぎわい通信

2021年12月11日 定例活動報告

日時：2021年12月11日（土）9：00～12：00

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 6～14℃ 湿度 68% 風向 南西 風速 1.7m

参加者：15人：子ども0人、大人15人（内土地改良区0人）

■活動

9:00 集合

9:30 作業開始

除草作業、ビニールハウス周りの整備、

10:30 休憩

除草作業、果樹の寒肥。

12:00 解散

■活動報告

雲一つない青空の下、2021年最後の活動がありました。

天気予報では冷え込みが厳しいといわれていて心配していましたが、ビニールハウス近くの水槽に氷が張っていたので夜から朝にかけて相当寒くなっていたことがわかりました。しかし天気が良かったせいか活動中は思ったよりも暖かくすごせました。

駐車場のある高台から森を見ると前回の活動から2週間ぐらいの違いでしたが、赤や黄色の紅葉から全体的に茶色に変わっていました。

活動は刈払機を使った除草作業グループとビニールハウスの周りの整備と果樹の肥料を入れるグループにわかれての作業となりました。

ビニールハウスはビニールの張替え前にじゃまになるススキの根を除去する作業で思ったよりも根がとりやすくスムーズに作業がすすんだ様子。

除草作業グループに参加していた私は、黙々と背中に汗が流れるのを感じながら進めていきましたが・・・自分ではかなり刈ったつもりでも最後に全体を確認するとまだまだ除草作業が必要なところが多く、作業人数や作業回数の大切さを思い知った感じでした。

今回昨年ススキの葉に多く見つけたオオカマキリの卵はあまりみられず見つけられたのは一つ、ハラビロカマキリの卵は例年通りの手を斜めに上げて届くぐらいの位置の木の幹の一つ発見。

本でカマキリはその年の積雪量を予測して卵を産むというのを見たことがありますが、下のほうで見られなかったということは・・・もしかして大雪になるかも？

休憩時はスティックのココアと紅茶が用意され身体が温まったところで・・・。

今回は参加人数が少なかったこともあり一人ずつ参加するきっかけなどを自己紹介とともに話してきました。印象に残ったのは、いつもは家族で参加されていたけれど今回は一人で参加されたお父さんの話で・・・ボランティアをすることを考えていろいろ探していくうちに家族で参加することを考えるようになり、お子さんが小さいこともあり不安に思っていた奥さんがいろいろ探して見つけて参加

したのがこの森の活動だったと・・・小さい子でも楽しめる家族で参加しやすい活動でありたいと切に思いました。他には地元から参加してくれている青年の役にたちたいという思いや教師を目指している青年の子どもたちに森の活動や自然について伝えたいという思いを聞いて日本の将来に希望の光が見える思いでした。

10月の活動でイノシシが荒らした散策路を踏んで直していましたが、また土の中のミミズなどの虫を食べにきたのか散策路がぼこぼこになっていました。

いちごっこで・・・いい策があるとのいいのですが

(記録： 和田 みさ子)

.....

お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、1月22日(土)(雨天の場合1月23日(日)) 除草作業、クズの蔓切、枯れた松の伐採及び焼却を行う予定です。



集合写真



雲一つない青空



水槽に氷が張る



ビニールハウス周りの整備作業





刈払機による除草作業



枯れたススキが生い茂っています



このように6台の刈払機がフル稼働





休憩 たき火で暖をとる



各自自己紹介を行う





果樹に肥料をやる



寒肥として牛糞堆肥を使う



ブルーベリーの紅葉